

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月22日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容  | グレード | 発見日    |
|----|--|------|--------|
| 1  | <p>【モバイル淡水化装置の雨水受入タンク(B)水位計指示不良について】</p> <p>当直員が、モバイル淡水化装置にて雨水受入タンク(B)から処理水タンク(B)へ移送を実施し、その状況を免震重要棟集中監視室の監視モニターで確認していたところ、雨水受入タンク(B)の水位が通常と違った水位変動を確認。雨水受入タンク(B)の移送を停止し、当該設備の現場状況を確認した結果、漏えい等の異常がないことを確認。現場の雨水受入タンク(B)の水位計を確認したところ、結露水の付着を確認。現場水位計の結露水の拭き取りおよび清掃を行い、通常と同様な水位変動することを確認。</p> | GⅢ   | 10月19日 |
| 2  | <p>【H1エリアE6タンク水位指示値の下限逸脱について】</p> <p>設備主管箇所による、E6タンク水位計を含むH1エリア水位計現場盤のケーブル入線部修理において、作業完了に伴い当該現場盤電源の投入操作を実施した際、他の水位計が復旧したにも関わらず、当該水位計の指示値のみが下限値逸脱により復旧しないことを確認。水位計の点検の結果、エラーメッセージが確認されたため、初期設定および清掃を実施するも状況が解消しないことから、当該計器の故障と判断。予備の計器と交換し、正常な指示値に復帰したことを確認。</p>                            | GⅢ   | 10月19日 |